

Kバレエカンパニー「シンデレラ」 熊川哲也

空を切るダイナミックな踊りで、世界の名だたる劇場の観客を魅了してきた熊川哲也。1999年からはKバレエカンパニーの主宰として日本バレエ界を牽引し続けている彼が、渋谷・オーチャードホールの芸術監督に就任し、さらなる進化を目指す。劇場リニューアルオープンの第一作として用意したのは、トップダンサー総出演で送る、夢いっぱい新作「シンデレラ」。40歳を前に、バレエ界の寵児が見つめる未来とは――。

「これから5年間指揮をとるオーチャードホールにはどんな印象をお持ちですか。」

カンパニーを設立するきっかけとなった98年公演「Made in LONDON」からお世話になっていて、ポリシーが明確、かつ格調の高い、日本では希少な劇場の一つだなと常々感じていました。それに開館以来20年間、ここはきちんとステータスを維持し続けていると思う。

「Kバレエカンパニーを牽引してきた実績を評価されての今回の依頼だと思いますが、オーチャードホールの芸術監督として何に取り組みたいですか。」

劇場単体ではなくて、地域全体の目線から、渋谷がブロードウェイやウエストエンドのようにハイカルチャーもポップカルチャーも共存共栄しているような街になればと思っています。渋谷に集まる若者の生活の中に衣食と併せてシアター文化が混ざ

るようになれば素敵なんじゃないかな。そんな若者たちが僕らの年代になった時に、またここ渋谷の劇場へ戻ってきてくれるように、オーチャードから文化発信をしていきたい。その上で、才能ある若い芸術家の発掘のため、そして新しい観客を獲得するために、新しいフィールドを開拓していきたいね。

「具体的に、どんなことをやりたいと考えていますか。」

例えば、ここ文化村の各部署、劇場や美術館が連携して、舞台美術や脚本、作曲家のコンペを主催し、各分野の優勝者たちによるオリジナルの舞台を創れたいな、と思っています。若い時には踊る自分に夢中で、「自分がバレエを生かしている」と思ってきたけれど、ここへ来て「自分がバレエに生かされている」と思うようになった。そうなった時、

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。

「例えは、ここ文化村の各部署、劇場や美術館が連携して、舞台美術や脚本、作曲家のコンペを主催し、各分野の優勝者たちによるオリジナルの舞台を創れたいな、と思っています。若い時には踊る自分に夢中で、「自分がバレエを生かしている」と思ってきたけれど、ここへ来て「自分がバレエに生かされている」と思うようになった。そうなった時、

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

「行く着くのはやっぱり、バレエ・リュス」なんだよね。つまり「総合芸術とは何なのか」というところに。たった20年間だけど、素晴らしいアーティストたちがこぞってその小さなバレエ団に参加して、バレエだけでなくさまざまな分野から公演、舞台芸術創造に携わったというのは、素晴らしいロマンだと思うので。」

百花繚乱の踊り手たち

5 組10名の主演ダンサーがそろい、花形スター総出演で送る『シンデレラ』。「踊りの性格」がみんな違うので、まったく異なる印象を与えるはず」（熊川）とのことで、ぜひそれぞれの舞台を観比べてみて。

松岡&宮尾、荒井&橋本ペアは、カンパニーを代表するプリマと、躍進中の男性ダンサーの組み合わせ。ゴージャスな前者にチャーミングな後者と、さすがの存在感で魅了してくれるに違いない（特に、宮尾については熊川も「着実に成長している」という

ことで、その勢いにも期待だ）。長身の浅川&遅沢も、ダイナミックかつ麗しい踊りで固定ファンが多いイチオシのペア。ライジングスター好きは、09年に入団し翌年王子デビューを飾った浅田と、10年入団で今回がKバレエでは主役初挑戦、熊川も「お客さんにとって育てる価値のあるダンサー」と期待を寄せる秋元をぜひチェックして。コンビを組む神戸・東野も、愛らしさと力強さの両面を表現できる演技派で、シンデレラにぴったりだ。

撮影中も笑いの絶えない10人だが、ポーズを取れば空気が変わる。夢の世界を現実してくれる、バレエの魔力に会いに行こう。



秋元康臣

東野泰子

宮尾俊太郎

松岡梨絵

浅田良和

荒井祐子

橋本直樹

遅沢佑介

浅川紫織

神戸里奈